高温用バーナ

フラットフレームバーナ

大阪ガス㈱殿開発品

FF-20K, 40K, 60K, 130K

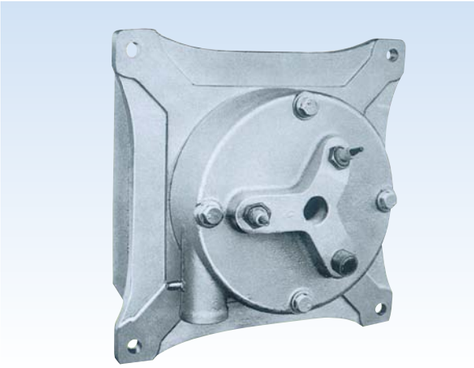
炎がうすく周辺に広がるので、
近接加熱ができ、装置がコンパクトです。

特　長

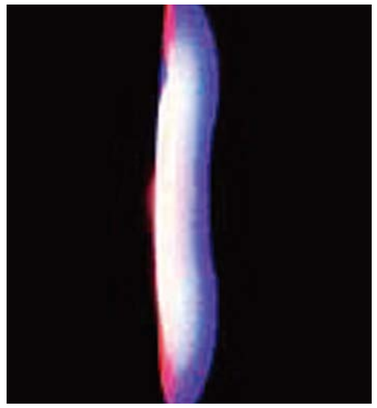
1. ターンダウンが大きい。
2. バーナの取付方向は、上向き、下向き、横向きと自由自在。
3. 過剰空気でも燃焼するので、高温域から低温域まで使えます。

主な用途

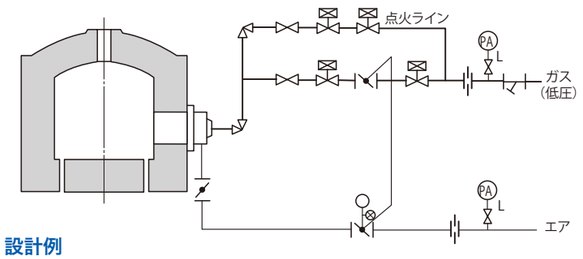
- 鋼の焼入れ、焼戻し
- 鋼の鍛造加熱
- 銅合金、アルミ合金の焼鈍
- 低融点金属の溶解



●火　炎



フローシート

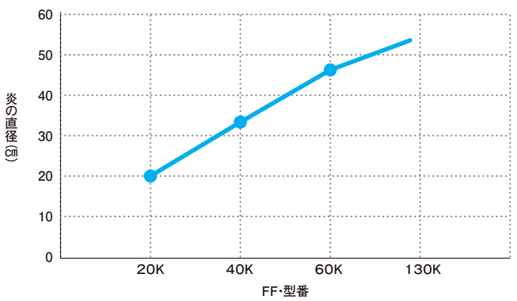


■ 設計例

台車炉に使用する場合は、左図のようにバーナを炉底部に取り付けることにより、均一な温度分布が得られます。

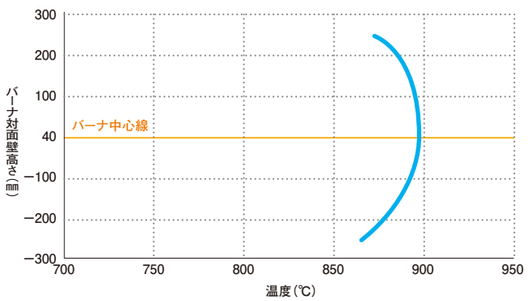
データ

■ 炎の直径(空気比m=1.25　オープンテスト)

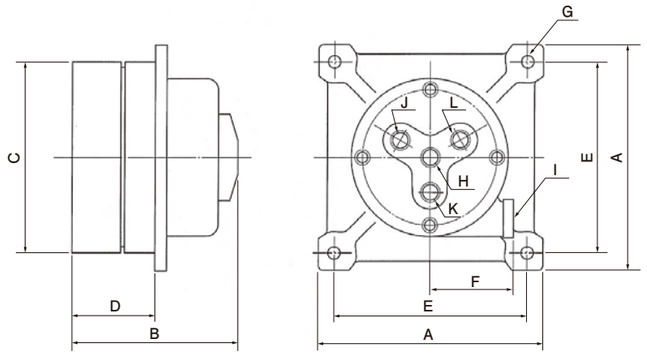


■ FF-20K温度分布(6C)

(バーナ面との距離105mm、燃焼量24kW、m=1.25)



仕様・外形寸法



型式		FF-20K	FF-40K	FF-60K	FF-130K	備　考
ガス種		13A				
定格燃焼量(kW)		24	48	72	144	低位発熱量
標準ガス量(㎥/h)		2.1	4.2	6.3	12.5	
標準ガスヘッド圧(kPa)		0.39	0.34	0.25	0.29	
標準エアヘッド圧(kPa)		2.4	3.3	3.2	3.7	
外形寸法(mm)	A(□)	260	310	375	425	
	B	232	247	254		
	C(□)	180	230	295	345	片面テーパ
	D	130				
	E(□)	220	270	335	385	
	F	95	110	125	150	
取付寸法	G(取付ボルト穴)	4-φ14		4-φ16		
接続径(Rc)	H(ガス)	1/2	3/4	1	1 1/4	
	I(エア)	3/4	1	1 1/4	1 1/2	
接続	J(点火)	M18 P1.5				
	K(炎監視)	M18 P1.5				
接続径(Rc)	L(覗窓)	3/4				
重量(kg)		20	35	55	65	
ターンダウン		3:1				
点火方式		ダイレクト点火				
検知方式		紫外線光電管又はフレームロッド				

取扱上の注意

- ●バーナタイル前面と炉壁面は同一にすること。
- ●下向き取付けの場合は炉材でバーナタイルを支持すること。
- ●1つのコントローラで、マルチバーナを制御する場合、エア、ガスの偏流を起こさないように配管設計をすること。
- ●メインバーナへ直接電気点火をする場合は、ガス量を最小流量に設定し、点火確認後、徐々にガス量を増加させる。
- ●点火トランスは6kV以上、100VA以上の容量のものを使用すること。
- ●ターンダウンを大きくとって使用する場合は、プレミックスエア配管を行なうこと。
- ●炎監視は紫外線光電管方式が望ましい。
- ●紫外線光電管には冷却エアを流すこと。